

<国語>

国語では、グラフをもとに分析をすると正答率が

全国・神奈川県（公立）平均よりも下回っている。しかし、

徐々に神奈川県（公立）の正答率に本校の平均正答率が、

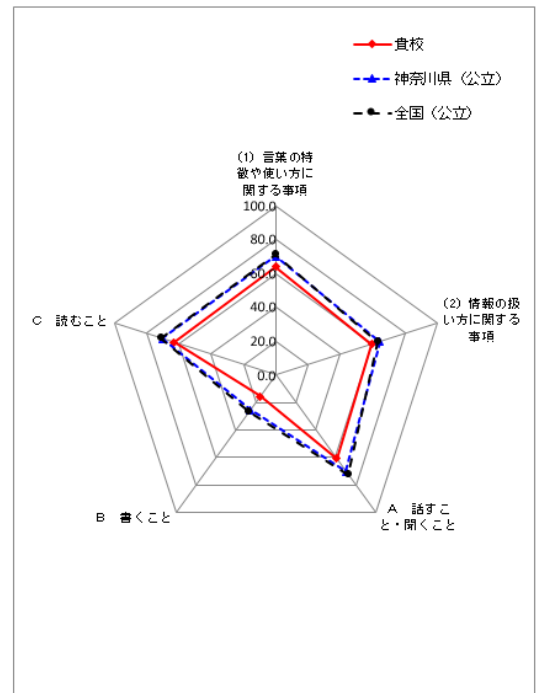
近づいてきている。今後、「書くこと」に関する内容が、

特に全国・神奈川県（公立）よりも下回っていることから

下記の2点が今後の学習のポイントである。

- ① 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、  
文や文章を整えることができること
- ② 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の  
文章のよいところを見付けることができること

<学習指導要領の内容の平均正答率の状況>



<算数>

算数では、グラフをもとに分析をすると正答率が

全国・神奈川県（公立）平均よりも下回っているもの

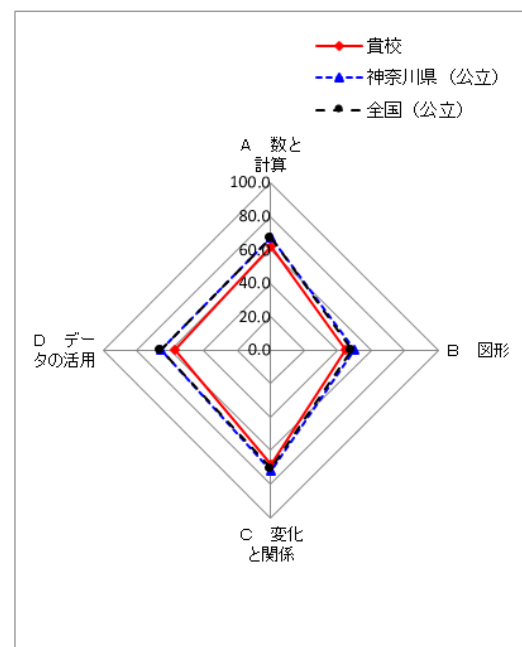
の、全体的にバランス良く正答することができている。

しかし、「図形」に関する内容が、他の領域より

も下回っていることから、次の点が今後の学習の

ポイントである。

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



- ① 図形に関して、面積の大小などを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるようにする。

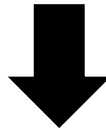
<児童質問紙> (全国平均から上回っている主な項目)

- ・自分には良いところがある
- ・将来の夢や目標を持っている
- ・人の役に立つ人間になりたい
- ・人が困っていることは、進んで助ける
- ・家で自分で計画を立てて勉強している
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたい
- ・今住んでいる地域の行事に参加している
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたい

→今後の学校生活においても今年度、新しいことに挑戦する機会の充実を図ってきたことを続け、

自己有用感を高める活動、他者との違いを受け止める学習、充実した話し合い活動を行うことを大切にしてい

重点研究目標



「友達の考えを聞き、自分の考えを分かりやすく伝える力の育成」

にせまる教育活動の実践・授業改善の取組を今後も継続します。

- ・講師による講演会での研修会 (年2回)
- ・校内での授業研究会・実践提案による研究会 (年3回) に取り組んでいます。